

九州大学学術情報リポジトリ  
Kyushu University Institutional Repository

---

## Studies in Languages and Cultures

<http://hdl.handle.net/2324/5482>

---

出版情報：言語文化論究. 10, 1999-03-01. Institute of Languages and Cultures, Kyushu University  
バージョン：  
権利関係：



## 退官教官研究業績表

吉野昌昭教授

### I. 著書

1. 『ワーズワスと「序曲」』(吉野編著)(南雲堂、平成6年、229頁)
2. 『空間の思索—詩的精神史への試み』(開文社、平成6年、181頁)

### II. 論文

1. T. S. エリオット試論—『バート・ノートン』における「時」と「言葉」をめぐる(東京大学大学院) *Pursuit* 6号、1頁-20頁、昭和40年6月
2. T. S. エリオットにおける比喩と自己劇化の関係(宇都宮大学)『外国文学』14号、25頁-34頁、昭和40年12月
3. 『偉大なるギャツビー』について(宇都宮大学)『外国文学』15号、10頁-18頁、昭和42年1月
4. Pound, *Near Perigord* 鑑賞(宇都宮大学)『外国文学』16号、17頁-38頁、昭和42年12月
5. *The Pisan Canots* 時代の Ezra Pound(宇都宮大学)『外国文学』17号、44頁-53頁、昭和43年12月
6. 虚の世界—『使者たち』論(宇都宮大学教育学部)『紀要』21号、53頁-61頁、昭和46年12月
7. *The Ambassadors* における水と船のイメージ(宇都宮大学)『外国文学』20号、21頁-29頁、昭和46年12月
8. Ezra Pound—その言語にみる認識の方法(九州大学)『英語英文学論叢』第24集、63頁-77頁、昭和49年3月
9. C. Day Lewis の詩—30年代の詩の一面(宇都宮大学)『外国文学』23号、59頁-75頁、昭和50年2月
10. Yeats の Dance Image について(九州大学)『英語英文学論叢』第28集、21頁-35頁、昭和53年3月
11. Yeats の想像力について—Ballylee 風景の意味するもの(日本英文学会)『英文学研究』第55巻1号、61頁-73頁、昭和53年9月
12. 光る Eros—Ezra Pound と Alba(九州大学)『英語英文学論叢』第29集、21頁-43頁、昭和54年2月
13. 詩人の証言—'Easter 1916'論(九州大学)『英語英文学論叢』第32集、13頁-26頁、

昭和57年1月

14. 無意識の深みへーTed Hughes 論 (宇都宮大学)『外国文学』30号、14頁-20頁、昭和57年3月
15. Yeats と Maud Gonne—または‘The Wild Swans at Coole’のテキスト改訂について (九州大学)『英語英文学論叢』第33集、15頁-39頁、昭和58年3月
16. イギリスの詩—ハーディ・イエイツ・エリオット (九州大学)『現代の文学』39頁-58頁、昭和58年12月
17. Yeats’s Logic of Death: the fairy poems and Gregory poems (日本英文学会) *Studies in English Literature 1985*、『英文学研究』英文号1985、37頁-51頁、昭和60年3月
18. <下降>する Lawrence—‘Snake’とその周辺 (九州大学)『英語英文学論叢』第36集、1頁-13頁、昭和61年3月
19. Yeats 小論—“sweetness”の性質をめぐって (宇都宮大学)『外国文学』35号、137頁-144頁、昭和61年12月
20. Yeats 詩法ノート (九州大学)『英語英文学論叢』第38集、71頁-86頁、昭和63年2月
21. Robert Frost 論 (九州大学)『言語文化論究』第1号、1頁-11頁、平成2年3月
22. Wordsworth における空間と視線の問題—Ted Hughes との比較において— (九州大学)『英語英文学論叢』第42集、15頁-30頁、平成4年2月
23. *Prometheus Unbound* における“reflection”の効用 (九州大学大学院)『比較社会文化』第3巻、141頁-147頁、平成9年3月

### III. 解説

1. パステイーシュの匠—パウンド理解のために (河村錠一郎、中村健二、出淵博と共同執筆)、(富山房)『季刊世界文学』第6号、52頁-81頁、昭和42年6月
2. パウンド『ユリシーズ』解説 (青土社)『ユリイカ』第9巻1号、74頁-77頁、昭和52年10月

### IV. 書評

1. M. L. Rosenthal, *Sailing into the Unknown: Yeats, Pound, and Eliot* (New York: Oxford Univ. Press, 1978) (日本英文学会)『英文学研究』第56巻第1号、154頁-159頁、昭和54年9月
2. Steve Ellis, *Dante and English Poetry* (Cambridge Univ. Press, 1983) (日本英文学会) *Studies in English Literature 1986* (『英文学研究』英文号、1986)、65頁-71頁、昭和61年3月

### V. 翻訳

1. エズラ パウンド短詩抄 (青土社)『ユリイカ』第4巻13号、76頁-83頁、昭和47年

11月

2. パウンド『ユリシーズ』（青土社）『ユリイカ』第9巻11号、66頁-72頁、昭和52年10月